

屋敷野・大野岳地区への 上水道区域の拡張 (平成24年度～25年度)

第9次拡張事業が終了した時点で、市内には水道の未普及地域がまだ14ヶ所ありました。そのうち、南波多町原屋敷(大野岳)地区は水源の水量不足や水質悪化により、また大坪町屋敷野地区は民営の飲料供給施設を使用していたが、施設の老朽化により生活用水の安定確保が困難な状況にありました。そこで平成21年度に両地区の給水計画を策定し、その後それぞれの地域において送配水施設等を整備し、平成26年4月に給水を開始しました。



屋敷野送水ポンプ場



大野岳送水ポンプ場



屋敷野配水池



大野岳配水池

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



屋敷野・大野岳地区拡張

屋敷野地区(簡易水道再編推進事業)

計画給水人口 ————— 79人
 計画1日最大給水量 ——— 25.9m³/日
 計画1人1日最大給水量 — 328ℓ/人・日
 総事業費 ————— 179,021千円

大野岳地区(水道未普及地域解消事業)

計画給水人口 ————— 56人
 計画1日最大給水量 ——— 18.4m³/日
 計画1人1日最大給水量 — 329ℓ/人・日
 総事業費 ————— 130,564千円

待望の通水により新しい時代へ

屋敷野地区では地元住民の主催で通水記念式典が行われました。そこで配られた式次第の挨拶文より一部記載させていただきます。

ごあいさつ (一部抜粋)

屋敷野地区の上半分の世帯では、長らく山水や井戸水で生活しており、生活用水の不自由さから上水道の延長を嘆願していました。そのような中、平成8年からは民営飲料水供給施設が使用できるようになりましたが、近年は施設の老朽化が進み修繕を繰り返してきたところです。この度、屋敷野地区の拡張工事が採択され、平成24年から平成25年度に伊万里市簡易水道統合整備事業が竣工し、待望の通水となりました。屋敷野上水道通水拡張を契機として、屋敷野区は新しい時代の幕開けとなりました。

これまで諸先輩方が築いて来られた功績と教訓に感謝し、これからも区民一丸となって協力を惜しまず、屋敷野区の発展と本日ご臨席の皆様並びに屋敷野区民のご多幸を祈念し、未来ある地域共生の礎を築くことをここに皆で誓いましょう。

平成26年4月吉日

屋敷野上水道通水記念実行委員会

委員長 樋渡 静雄

副実行委員長 松本 一郎

屋敷野区 区長 吉原 清則



屋敷野区通水記念碑



記念式典の様子

